



安倍9条改憲NO! 憲法を生かす 3000万署名を推進しよう!

昨年は、安倍政権による憲法破壊、民意無視、国政私物化の政治に対し、国民の深い批判、怒り、嫌悪感が大きく広がり、日本共産党と市民共闘の真価が問われた一年でもありました。

統一地方選挙まで一年あまりです。

どんな難しい情勢が展開したとしても、議員団として、市民の暮らしを守る運動の先頭に立って奮闘する決意を申し上げ、新年のご挨拶とします。



日本共産党江南市議会議員
森ケイ子 かけのまち子 東よしき

新体育館のオープンは5月1日

30億円あまりをかけて建設中だった新体育館が姿を現しました。12月議会では、新施設使用料金も決まりました。

名称は「江南市スポーツセンター」。武道館やグラウンド、テニスコートを合わせ「スポーツプラザ」と変わります。

主な使用料金は・・・		
	単位	金額
メインアリーナ	2時間	4,360円
サブアリーナ	2時間	2,170円
フィットネススタジオ	2時間	3,280円
トレーニング室	1回	500円
	月会費	4,000円

料金は非営利の場合。営利目的は2倍。



2018年、9条改憲の国会発議が狙われる最も厳しい年を迎えました。この一年、被爆二世として平和憲法を守る人生をかけたただ

かいをしなければなりません。

皆様にいただいた二期目のバッチを胸に、国会内外でいっそう手をつなぎ、連帯の力で必ず跳ね返していく決意です。

日本共産党衆議院議員 もとむら伸子



小学校プール廃止? すいとぴあ譲渡・廃止案も、市民サービス低下招くおそれ!

江南市公共施設再配置計画(案)がまとまり、市民意見の募集中です。

老朽化し一斉に建て替え時期が迫った市内の公共施設を、人口減少を迎える中、どう財源を確保し建て替えていくかが大きな課題です。

市は全て建て替えるには財源が大幅に不足すると試算、建物総延床面積を約14%削減し、「統廃合、複合化」「長寿命化」「民営化・料金の適正化」などで対応する方針で、その具体案が再配置計画です。

計画(案)には、驚くべき荒療治の提案が満載。見出しの他にも、市立保育園の統合・複合化などの提案がぎっしりです。

江南市の一人あたり公共施設面積は、今でも県下最小レベル。統合・廃止を進めればさらに減り、市民サービスが低下し活気が失われる恐れがあります。

まず無駄で過大な事業を徹底して見直した上で、関係者や住民の意見を十分聞き、情報を公開して市民参加と合意で進めるべきです。

あすの江南